

## 関東中学校バレーボール大会栃木大会 強化研修事業 における審判上の確認事項について

## 栃木県中体連バレーボール専門部

- 1 競技は、2021 年度（公財）日本バレーボール協会6人制競技規則および 2021 年度（公財）日本中学校体育連盟バレーボール競技部の6人制ルールの取り扱いを適用する。リベロプレーヤーは、試合ごとに2名まで登録できる。
- 2 ボールの空気圧は、0.300~0.325kg/cm<sup>2</sup>である。（県内大会は 0.310kg/cm<sup>2</sup>で統一する）
- 3 服装は、（公財）日本中体連バレーボール競技部『全国大会参加チームのユニフォームの規定について』に準ずる。
  - （1）選手のユニフォームについて、ジャージ、ショートパンツ、ソックスは清潔で同じ色に統一していなければならない。
  - （2）リベロプレーヤーは、正規の選手と明らかに色の異なったもの（対象色）を着用する。判別が難しいと判断された場合は着替えるかリベロベストを着用しなければならない。
  - （3）監督・コーチ・マネージャーは統一（※1）されたものを着用する。但し、生徒がマネージャーの場合、選手と同じトレーニングウェアでも良い。それぞれ、左胸にワッペンをつける。  
**（4）ベンチスタッフ・控え選手は必ずマスクを着用する。**

※1…県大会では、同系色を認める。半ズボン認めない。
- 4 プロトコールについては、別表の通りとする。
- 5 監督およびチームキャプテンは、トスの前後に記録用紙にサインをする。また、リベロプレーヤーを登録するチームの監督は、そのプレーヤーの番号を記録用紙に記入する。リベロを再指名する場合を除き、サイン後に訂正することは認められない。
- 6 公式練習を含め、競技場内には正式にエントリーされたメンバー以外は立ち入りを認めない。
- 7 ウォームアップエリアを設ける場合において、エリア内でのボールの使用は禁止する。
- 8 セット間はエンドライン側のフリーゾーンでボールを使用することができる。但し、選手同士のパス程度の練習とし、チームスタッフがボールを出す行為は認めない。
- 9 スポーツ選手としてふさわしくない行為をしない。（威嚇や暴言、相手へのガッツポーズなど）
- 10 試合中のワイピングは、原則としてコート内の選手がタオルを携帯し行う。モップは必要に応じてタイムアウト中とセット間および審判が必要と判断した場合（範囲が広くタオルでふききれない、など）使用する。

- 1 1 監督は、自チームベンチ前アタックラインの延長線上からウォームアップエリアまでの範囲内で、立ち上がりあるいは歩きながら指示をだすことができる。ただし、ラリー中はベンチに座る。
- 1 2 タイムアウトは監督がハンドシグナルを明確に示して要求する。  
※県内大会において、派遣審判員が審判を行う試合でのみ、ハンドシグナルを示すだけで要求を受けつける。（対戦する監督同士が審判に当たる際は、「立ち上がり、ハンドシグナルを示し、発声する」ことでタイムアウトを受けつけるものとする）
- 1 3 セット開始時のコート内でのハドルは、スターティングラインアップの確認前に行う。（コート内でハドルを組めるのは、スターティングラインアップの6名とリベロプレーヤー最大2名のみである。）
- 1 5 リベロプレーヤーの交代は、交代する2名がサイドラインで一旦止まり、片方の手を高く上げてから交代する。
- 1 6 個別に公式ウォームアップを行う際、コートを使用する権利のあるチームの練習を妨げてはならない。（スパイク練習中は、チーム後方フリーゾーン内でボールを使用するアップをしてもよいが、コート全面を使用する練習の場合はフリーゾーン内であってもボールを使用してアップをしてはならない。）

- 【感染症予防①】選手は、1ラリーごとに記録席横のボールリトリバーへボールを返球し、サーバーはボールリトリバーが投げたボールを受け取る。（変則3ボールシステムの採用）
- 【感染症予防②】筆記用具は各チームが準備し、監督・チームキャプテンは自チームで準備した筆記用具でサインをする。（接触頻度の軽減）
- 【感染症予防③】セット間はコートチェンジをせず、試合終了後はチームスタッフが責任をもって使用したベンチ・モップなどを消毒してから退席する。（消毒の確認）
- 【感染症予防④】スコアラー・アシスタントスコアラーを担当する生徒および顧問は、自分で準備した筆記用具のみを使用し、その他のものには極力触れないようにして審判業務にあたる。また、ラインジャッジは自チームのラインフラッグを使用する。（接触頻度の軽減）
- 【感染症予防⑤】ボールリトリバーの生徒および顧問は、必ず手袋をして直接ボールに触れることがないようにして審判業務にあたる。（接触頻度の軽減）
- 【感染症予防⑥】審判業務にあたる生徒および顧問は、必ずマスクを着用する。（飛沫感染の防止）

## 別表

## プロトコールについて

## 【3セットマッチの場合】

## ＜試合開始前＞

	チーム	主審・副審
試合前	両審判員のネット等のチェック時は、ネットを使用しないウォームアップをすることができる。	両審判員は、ネットの高さ・張り具合・アンテナの位置およびサイドバンドの位置をチェックする。また、公式ウォームアップ前には必ずユニフォームになるよう呼びかけるとともに、チームキャプテンはユニフォームでコイントスへ参加させる。(キャプテンマークの有無を確認する。)
11分前	監督は、記録用紙に記載されているメンバーを確認し、サインする。(監督については、スコアラーの準備が整っていれば、合同練習中にサインをしても構わない。) チームキャプテンはコイントスのため記録席に行く。トスの後、記録用紙にサインする。	主審は、記録席前で副審を立ち合わせてコイントスをする。副審は両チームのチームキャプテン・監督を記録席に導き、スコアシートにサインさせる。(スコアラーの準備が整っている場合に限り、監督のサインは合同練習中にさせても構わない。)
10分前	両チームが一緒か、または個別にサービス権を得たチームから)公式ウォームアップを開始する。 ※個別に公式ウォームアップを行う際、コートを使用する権利のあるチームの練習を妨げてはならない。 (スパイク練習中は、チーム後方フリーゾーン内でボールを使用するアップをしてもよいが、コート全面を使用する練習の場合はフリーゾーン内であってもボールを使用してアップをしてはならない。)	主審は、公式ウォームアップの開始をホイッスルするとともに、ボール、公式記録用紙、プザー、ユニフォームなどのゲームに必要な道具のチェックをする。 また、ラインジャッジ、ボールリトリバーとの打ち合わせを行う。 副審は、公式ウォームアップの計時を行うとともに、両チームの登録選手をチェックする。(登録されていない選手がいる等の問題は、監督へ伝えた上ですぐに対応する。)
7分前	個別にウォームアップを行っている場合は交代する。	副審は各チームが個別にウォームアップを行っている場合はその交代をホイッスルで合図する。
4分前	公式ウォームアップを終了し、各チームのメンバーは全員速やかにベンチへ戻る。	主審は、公式ウォームアップの終了をホイッスルで合図する。
3分前	全プレーヤーは全員エンドラインに整列する。 ＜※アナウンスがある試合はここで実施する＞ 主審のホイッスルで両チームが <b>その場で挨拶(一礼)をする</b> 。その後、各チームのメンバーはベンチに戻り、スターティングプレーヤーはユニフォーム姿で待機する。	主審は、両チームのプレーヤーをエンドライン上に導く。 主・副審は、審判台の前でネットを挟んで記録席から見て左側に主審・右側に副審が位置する。
90秒前	主審のホイッスルで、スターティングプレーヤーはベンチから直接コートへ入る。 ハドルはスターティングラインアップを確認する前に組む。その際、スターティングプレーヤーとリベロ最大2名のみとする。	主審は、ホイッスルでプレーヤーをコート内に導く。 副審及び記録員は、それぞれスターティングラインアップを照合する。 その後、副審はボールを最初のサーバーに送る。 (副審は必要に応じてリベロの交代を指導する。)
定刻	最初のサーバーは、主審のホイッスルによりサービスを行う。	主審はサービス許可のホイッスルをする。

【感染症予防対策】記録席横に特設のボールリトリバーを2名配置し、副審は1ラリーごとにボール交換を指示する。

<セット間>

	チーム	主審・副審
セット終了時	<p>セットが終了したら、コート上のプレーヤーはエンドライン上に整列する。</p> <p>主審のホイッスルで、コートチェンジをする。</p> <p>(スタッフ・ベンチメンバー及び荷物の移動は副審の前方を通りコート内へ入らないよう注意する)</p> <p><b>【感染症予防対策】コートチェンジが行われない場合は、選手は速やかにベンチへ戻る。また、手指消毒とマスクの着用を徹底する。</b></p>	<p>主審は、両チームのプレーヤーがエンドラインへ整列したら、ベンチに戻るようホイッスルで合図する。</p> <p>副審は、掲示を開始した上で、ボールに対し背中を向けて両ベンチに異常がないかを確認する。また、1分前になってもラインアップシートが提出されなければ、監督へ提出を促す。(記録用紙にラインアップが記載されたら、訂正することはできない。)</p> <p>副審とスコアラーは、提出されたラインアップと登録選手を照合し、誤りがないかを確認する。</p>
2分30秒後	<p>プレーヤーは副審のホイッスルにより、ベンチから直接コートに入る。(ハドルの取り扱いは試合開始前に準ずる)</p>	<p>副審は、スコアラーの合図を受けて、両チームにコートに入るようホイッスルで合図する。</p> <p>副審とスコアラーは、その後直ちにスターティングラインアップを確認する。(ハドルの取り扱いは試合開始前に準ずる)</p>

<試合終了後>

	チーム	主審・副審
速やかに	<p>試合が終了したら、全プレーヤーはエンドライン上に整列し、主審のホイッスルにより<b>その場で挨拶(一礼)をする。</b></p> <p>チームキャプテンは記録用紙にサインし、主審・副審に感謝の挨拶をする。</p> <p>チームは直ちにベンチから離れる。</p> <p><b>【感染症予防対策】スタッフは責任をもってベンチや使用したものの消毒をする。</b></p>	<p>主審は、全プレーヤーをエンドラインに整列させる。</p> <p>主審は主審台を降り、副審が定位置に付いたらホイッスルで両チームに挨拶をさせる。</p> <p>記録席に戻り、両方のチームキャプテンにサインをさせ、その後スコアラーの記録用紙記入を完了させる。</p>